

'11年度入学式・体育大会



①入学式当日 恒例の各教室の窓に自分の名前が!!

②入学式 八正道説明

④音楽科修学旅行 オーストリア

⑤応援合戦 橙群団優勝☆

③実った!楽しかった!フレッシュマン合宿

⑥お互いプライドかけた部活対抗リレー

「ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず……」。

「方丈記」の有名な出だしは、世の中には永遠なものなど何もないとの認識から出発しています。

確かにその通りでしょう。一見流れて止まない川。しかし、水は常に変化して止みません。

学校もまた川と同じ。そうやって毎年生徒たちが入れ替わり、新しい青春のページを描いてゆきます。

新しいメンバーを迎え入れ、体育大会に始まる行事で同朋生としての洗礼を受け、成長してゆきます。

2011年。いったいどんなドラマが始まるでしょうか。

商業科

松原 久美子
何事にも全力で

数学科

大泊 和将
よく学びよく遊ぼう

社会科

鶴岡 昌毅
seize the day

事務

小林 真由
If you can dream it, you can do it.

新任紹介

芸術鑑賞「新・水滸伝」

本校の芸術鑑賞はここ数年“本物”の舞台を選んでいきます。一級のプロが繰り出すものには何かしら見ている人に伝わるものがあります。今年の「新・水滸伝」も役者の激しい動きや煌びやかな衣装に生徒は拍手喝采でした。また中日劇場初の“本物”のバックステージツアーも生徒たちの心をつかみました。本物には人をうならせる何かがあります。(教諭 林)



(中日新聞にて)

Schedule (行事予定)

7月	
29 金	2年生白馬学習合宿(～8月2日(火))
8月	
6 土	第1回学校公開日(セミナー体験)、オーストラリア語学研修(～21)
7 日	同窓会総会
20 土	地域懇委員会会議(総括)、かぜの会
21 日	PTAバスツアー
25 木	出校日
26 金	第2回学校公開日(部活動体験)
9月	
1 木	2学期始業式
10 土	自由選択④、P常任、一斉学級懇、アンサンブル演奏会
29 木	3限授業 文化祭準備
30 金	文化祭オープニング
10月	
1 土	文化祭公開日
2 日	文化祭(片付け)
3 月	文化祭代休
4 火	月曜振替授業
7 金	音楽科合唱・オーケストラ演奏会
8 土	自由選択⑤ かぜの会
18 火	2学期中間考査(～21日(金))

PTA会長の言葉



東日本大震災から続く一向に収束をみない原発事故そして政治不信、それらが私たちの生活に先行き不安を投げかけています、それでも生徒達が元気に通学する姿からは平穏な日々と将来への希望が感じられます。

さて私たち親には子どもを育てる義務と権利があります、自分の分身である子を親の思う方向に育てて良いのです、しかし親であるあなたは(私は)社会に通用する子どもを育てられる立派な親でしょうか?(私はまだまだ未熟ですが)最近のコマーシャルに「子育ては タイヘン たのしい」というのがありますが、高校生の子どもを持つ親として子育てができることを楽しみステキな親として皆様と共に育って行きたいと思います。

(梅元泰弘)



ウエサカ祭

5月20日(金) 覚王山日泰寺にて、釈尊の誕生・成道・涅槃を合わせてお祈りするウエサカ祭があり、毎年恒例で本校からも一学年クラ連を中心として約30名が参加してきました。



'11年度 体育大会



学年を超えて軍団対抗で争う体育大会。三年生はリーダーシップをとって最後の思い出のシナリオを描き、一・二年生は同朋らしさを体感する機会。延期され、連日の雨に開催が危ぶまれたが、奇跡的に前日に雨は上がり、強風がグラウンドを乾かし、当日は日だけの快晴。気持ちには天に通じた！



選手宣誓をする307宮野隆汰(南陽中学出身)

体育大会を終えて

方針として①規律を遵守することから、集団の中であるべき姿勢、役割を考えさせ、全員が楽しい体育大会を創造する。②他学年との交流から、立場や価値観の異なる人に敬意を持ち、理解につとめる姿勢を育成し、よりよい人間関係の構築を目指す。ということを打ち立てました。

Tシャツ作成については昨年度より、より縮小させた形で行いましたが、シンプルなかでも各群団の個性は十分に発揮されており、子ども達の想像力の高さを感じた作品ばかりでありました。

競技については年々盛り上がりが増してきており、今年度はトラック種目に対する真剣さに加え、集団種目特に綱引きの盛り上がりは目を見張るものがあり、子ども達の純粋さを見ることができ、一人ひとりが大切にされている姿を見ることができました。

応援合戦については、新たな発想で応援合戦に臨んだ群団がいくつかあり、見て

たえのある素晴らしいものでありました。梅雨の合間に二時はもう体育大会は開催できないのではと思われる天候の中、子ども達の思いが通じたのではないかと、思うような晴天。それに値する高校生らしい感動ある。

体育大会であつたように思います。

(教諭 小川)

団長という責任

309 橋本 智帆
(日比野中学出身)

閉会式が始まった。私は今までのいろんな気持ちが出て来て、発表を聞く前から胸がいっぱいだった。みんなて手を握り合った。そうしたら「優勝、橙群団。」と言われた。「瞬」どの？と思ったがオレンジだと思つたと涙がこみ上げてきた。みんなと抱き合つて泣いた。団長が嫌でしうがなかった気持ち。辛かった気持ち。全てが瞬にして消えた。

オレンジ群団はカラーガードをやる事になった。誰もやつたことがなく振り付けを考えるのにすごく大変な思いをした。全く決まらず不安ばかりが残つた。二年男子と二年男子がふざけてばかりで、よく困つた。こんなでみんなまとまつて、いい応援合戦が出来るの？と思つて、本番が近づくとともにイライラする気持ちと不安な気持ちだけが膨れ上がつていった。練習中にもみんなにそういう気持ちをぶつけてしまった。みんなに嫌な思いをさ

せていたのかもしれない。だけど、絶対になんとしてでも成功させたい気持ちが一番あった。いつの間にか、居残りしてくる人がたくさん増えて、教室に入りきらなくなった。私はとても嬉しかったし、やる気になった。

本番 練習中はみんな声が出なくて不安だったがみんなとても声が出ていた。また、本番直前に今まであつた旗が一組消え、三年生はバニクになった。そこで二年生に旗を譲ってもらい、二人の一年生は一本の旗で我慢してもらつた。こんな事件を乗り越えてみんながつになつて見事成功した。達成感がすごくあつた。終わった後にいろんな先生に「良かったよ！」と声をかけられた。結果が気になつて結果発表まで落ち着かなかつた。

優勝できたのは本当に二・三年生全体的のおかげだと思う。私はオレンジ群団のみんなにありがとうという気持ちでいっぱいだった。陰ながら支えてくれた先生にも感謝の気持ちでいっぱいだった。私は二年八組、二年後組、そして三年九組というオレンジ群団の団長をさせてもらえて、本当に幸せた。



応援合戦	優勝	橙群団
	準優勝	桃群団
	3位	黒群団
競技部門 (群団別)	優勝	青群団
	準優勝	桃群団
	3位	灰群団
競技部門 (クラス別)	優勝	303
	準優勝	307
	3位	202・206

一年生

フレッシュマン合宿

たくさん勉強した！

基礎検・進級した！

いい仲間ができた！

フレッシュマン合宿を終えて

4月19日(火)～21日(木)二年生は2団に分かれてフレッシュマン合宿に行きました。行き先は三ヶ根と郡上八幡でしたが、基礎学力検定に合格しようとする意気込みや、レクリエーションを通じて仲間づくりを楽しむといった生徒の気持ちは同じだったと思われます。

今年度から基礎学力検定は英数の2教科になり、例年に比べ1級合格者の人数が増えており、素晴らしい結果と最高の思い出が出来たことでしょう。

そんな中、特別講座を受けた生徒が「こんなに勉強したのは初めて……」と言いながら、合格した時には本当に嬉しそうな顔をしていたのが印象的でした。これから先は是非、この経験を活かして目標を持ってあきらめずに勉強してほしいと強く感じました。
(教諭 高橋)

楽しかった

フレッシュマン合宿

110 稲垣 舞香
(志段味中学出身)

基礎検を5級から1級まで全員が合格するように、3日間の合宿へ行きました。私達が行ったのは三ヶ根です。正直、私は基礎検に合格することができず不安を抱えていました。

三ヶ根に着いてから、2回目のテストがありました。見事、4級を両方合格することができました。次にすぐ3回目のテストで3級を合格することができました。次の日も眠たい中テストを受けました。学習時間を有効に使ったおかげで、英語と数学共にストレート合格をすることができました。すべて終わった時の達成感を味わえたので良かったです。

この合宿では勉強だけでなく、たくさん楽しいことがありました。テストが終わったからの休憩時間は、たくさんの友達とお喋りをしました。入浴の時も、みんなでワイワイ騒いだり、夜は思ひ出話をしました。三ヶ根の散策では、気持ちの良い空気が吸えたり、ステキな緑と海が見られたので良かったです。

合宿へ行く前までは、行きたくないと思っていた私でしたが、終わってからはもう度行きたいと思つたし、悔いが残らない3日間になったと思います。そして何よりクラスの友達だけでなく他クラスの子達とも絆を深めることができたので、とても良かったです。

高山別院研修



4月21日(木)、毎年この時期3年生は京都の東本願寺で「上山研修」を行うのですが、今年は親鸞聖人の750回忌、大遠忌の法要が行われる関係で、京都から行き先を変えて、高山別院で研修を行いました。

輪番の方が、ご自身が東日本大震災のボランティアに行かれた経験から、人の心の弱さや命の大切さをとてもわかりやすく話してください、生徒もよく聞いていました。

講話を聞いた後は、それぞれ昼食をとり、高山市内の散策となりました。おいしいものを見つけて食べたり、お土産を探したりと、それぞれ楽しんでいました。学年全体で同じところに行けたこと、京都よりも近いので時間的にも少しのんびりできたこと、心に残る講話に最高の天気と、とても良い研修になりました。
(教諭 滝敏)

2年生遠足

4月21日(木)、2年生は普通科・商業科・音楽科に分かれて校外で時間を過ごしました。普通科は「三重県・朝明溪谷」でデイキャンプを行ないながら、グループ別行動の大切さを学びました。商業科は「三重県シャープ亀山工場」に「企業見学」に出かけ、工場の見学だけでなく、「働くこと」「人と人との間の礼儀」など大切なことを学びました。音楽科は「静岡県・浜松楽器博物館」で、普段使っている楽器の成り立ちなどを見学してきました。
(教諭 寺町)



普:朝明溪谷
商:シャープ亀山工場
音:浜松楽器博物館



海外研修

312 野田 真由香
(一宮中部中学出身)

すばらしいオーケストラの演奏に、歌手たちの声に心が躍っていました。ドキドキが止まらないって、こういうことを言うのだと実感しました。「魔笛」という有名なオペラを観ることができて本当に良かったです。

312 大獄 沙千
(幡豆中学出身)
マウトハウゼンの建物はとてもキレイだった。想像していたのと違っていた。中に入ると、空気が重く感じられた。たくさん資料があつて、全部生々しい写真でとても悲しかったけれど、目に焼き付けた。学校で勉強した写真をこの目で見られる



なんて、なんだか不思議な感じがした。ガス室とか人をたくさん殺したところも歩いて見た。とても、なんだか、言葉にできないけど、やっぱり見て、聴いてよかったなと思った。今平和な時代に生きている自分を省みて、他の時代をもっと知らなくてはいけないなと改めて思った。学べて良かった。

